

コンビニにAEDを設置して救命率向上を

三宅和広 議員



心原性心肺機能停止者の 1か月後の社会復帰率

救急隊が電気ショック（除細動）
を実施した場合 **20.3%**

約2.3倍、社会復帰率が上がる。

市民が電気ショック（除細動）
を実施した場合 **46.1%**

（「平成28年版救急・救助の現況」を基に作成）

市内に設置されているAEDは、ほとんどが夜間や休日には利用できない。夜間や休日にもAEDが利用できるように、コンビニにAEDを置いていただき、24時間貸し出せるようにしてはどうか。

また、コンビニが近くにない地域もあり、そうした所では公民館などに設置しているAEDを夜間や土日でも使えるように施設改修を積極的に進めていく必要があるのではないか。

山本市長 コンビニへのAED設置については、場所や管理のあり方などの課題を整理しながら検討していきたい。

吉田健康福祉部長 既存のAEDについては、屋外に設置できる収納箱が販売されているので、そうしたものを活用して24時間使用できる方向で検討していきたい。

未使用の市有地を活用 してミニ公園の整備を

面積が狭いために売却できない土地をミニ公園として整備してはどうか。

その際、希望する町内会などからどのように整備したいかを考えていただき、それをもとに市で花壇を設けるなど整備した上で、その団体から管理してもらってはどうか。

未使用地の有効活用の他にも地域住民の活躍の場づくりなどの効果も期待される。

大石建設部長 そのように公園を整備し管理していきたいという熱意のある地域があれば、可能かどうかを個別に検討させていただきたい。また、公園整備に当たっては、今後も住民によるワークショップを活用するなど様々な方の意見を聞きながら整備していきたい。